



実施計画の重点施策である15施策の中から主な事業の成果を紹介します。

## 1. 健康づくりの推進

### ● 自転車活用推進 (決算額 279 万円)

3年間の実証実験の最終年度となる令和3年度には、34人が参加。参加者は元オリンピック選手によるサイクリング指導や松本大学による運動・栄養指導を受け、年2回の体力測定と活量計のデータ分析を行いました。検証結果では、血圧の低下や前屈、脚伸展筋力などの項目において顕著な改善が見られました。



実証実験を兼ねたサイクリング教室

## 2. 出産・子育て支援の充実

### ● 穂高北部児童館整備 (決算額 3 億 5,566 万円)

国・県の補助金と市債を活用し、予定どおり建設工事が完了。令和4年3月にしゅん工し、4月から児童館と児童クラブの運営が始まりました。これにより施設の老朽化が解消。穂高北小児童クラブの6年生までが受け入れ可能になりました。



穂高北部児童館

## 3. 観光の振興

### ● 観光地の「まちあるき」の満足度向上整備 (決算額 1,456 万円)

穂高神社式年遷宮にタイアップして行われる観光振興イベントの来訪者等が清潔で快適なトイレが利用できるよう、穂高駅周辺の公衆トイレを改修しました。



水資源の大切さを学ぶ出前授業

## 4. 水資源の保全・強化・活用

### ● 水資源対策 (決算額 1,038 万円)

市内の地下水位測定を継続観測することで、現況把握・監視等を行うとともに、小学校・市民活動団体に前出授業・講座を開催。地下水の大切さを伝え、保全に取り組まれました。市民・事業者・市が取り組む施策を具体的に示した「水環境基本計画・同行動計画」の中間見直しを行い、より健全な地下水環境の創出に向けた新たな人為的涵養施策を進めました。



東の玄関口・明科駅周辺を整備

## 5. 秩序あるまちづくりの推進

### ● 都市再生整備計画(明科駅周辺) (決算額 1 億 4,236 万円)

明科地域の特性を活かした安曇野市の東の玄関口にふさわしいまちの形成を目指し、令和4年度完成に向け、事業進捗を図りました。令和3年度は、駅前広場、トイレ、周辺道路、街路灯の整備工事を進めました。



まちあるきによる空家見学会

## 6. 移住・定住の促進

### ● 空家等対策 (決算額 1,897 万円)

空家対策は空家発生予防、適正管理、利活用、特定空家等の解消など総合的に事業を展開するため、民間の2団体と市民協働事業を実施。課題や情報の共有により、所有者等の意識向上につながるワークショップや相談会、まちあるきによる空き家空き店舗見学会を行いました。また、移住者リフォームや特定空家等の解体は、国庫補助事業を活用し制度を一部拡充することで、活用のニーズに応えることができました。

## 7. スポーツ活動の充実

### ● 新総合体育館備品調達 (決算額 1 億 694 万円)

新総合体育館建設に伴い運営に必要なスポーツ器具、什器、カーテン、音響設備等を調達しました。健康志向に伴い、自主的・主体的なスポーツ活動を展開するための備品を整備したことで、心身両面にわたる健康の維持、増進が図られました。



新総合体育館の器具や設備を整備

### 令和3年度に実施した主な新型コロナ対策

### ● 子育て世帯への臨時特別給付金 (決算額 14 億 473 万円)

新型コロナウイルスの影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、児童手当の支給対象児童及び高校生世代の児童に対し、児童一人あたり10万円の臨時特別給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。



新型コロナワクチンを医療機関に配送

### ● 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 (決算額 7 億 3,488 万円)

新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、国が令和3年11月19日に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、さまざまな困難に直面した皆さんに対して生活・暮らしの支援を行う観点から、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円を支給しました。



新型コロナ対策の体制整備(写真:本部会議)

### ● 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 (決算額 3,760 万円)

県社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付が終了した世帯を対象に、就労による自立を図るための求職活動等を行うことを条件に原則3カ月(最長6カ月)支援金を支給しました。



集団接種会場でのワクチン接種

### ● 新型コロナウイルスワクチン接種 (決算額 7 億 269 万円)

システム改修やコールセンターの運営、接種券等の印刷・発送、物品等の購入など接種体制の整備を行いました。



ワクチン予約を対面でサポート

### ● 飲食店等応援給付金 (決算額 9,043 万円)

県の新型コロナウイルス感染警戒レベル4発令により、売上が減少した飲食店等と納入業者に給付金を支給し、事業継続と感染防止対策の徹底を支援しました。

### ● プレミアム付き商品券 (決算額 1 億 4,457 万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大により冷え込んだ市内経済の活性化を図りました。商品券5万セットを用意し、48,624セットを販売。多くの皆さんに活用いただき、6億円を超える消費効果がありました。



経済活性化のため商品券発行